



モスクワは涙を信じない



ジャズメン



がんばれかめさん



わが友イワン・ラブシン

特別
上映

ソビエト映画特集

60年代から80年代のソビエト映画の特集

新型コロナウイルス感染防止のため
下記へのご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員はマスク・手袋を着用します。

特別
企画

ソビエト映画特集

60年代から80年代のソビエト映画の特集

会期:5月3日(火・祝)~5月28日(土) ※休館日・休映日除く

観覧料:600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

※各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)

※「わたすクラブ」会員の方は300円。(会員証の原本の提示が必要です。)



タシケントはパンの町

3(火・祝) 11:00 / 14(土) 11:00 / 19(木) 11:00

火の馬 *Shadows of Forgotten Ancestors*

ウクライナ。カルパチア山地に住むペトリュクとグデニユクの二つの民族は何世代にもわたっていがみ合っていた。しかし両家の子ども、イワン・ペトリュクとマリチカ・グデニユクは幼い頃から仲が良く、次第に愛し合うようになる。その稀有な才能が高く評価されるウクライナの巨匠・パラジャーノフ監督作品。鮮やかな色彩による幻想的な映像と特異な民族の風習は、過去のソ連映画に見られないものだった。



監督:セルゲイ・パラジャーノフ 出演:イワン・ミコライチュク ラリーサ・カードチニコワ
1964年/35ミリ/カラー/92分/ソ連/日本語字幕付き

3(火・祝) 14:00 / 12(木) 14:00 / 19(木) 14:00

アンドレイ・ルブリョフ *Andrei Rublyov*

ロシア最高のアイコン(聖像画)画家と言われたアンドレイ・ルブリョフ(1360?~1430?)を描いた大作。しかしその生涯はほとんど記録が残っていない。15世紀初頭のロシアを舞台に、タタール人の侵略、民衆の飢えと飢饉、友人の裏切り、創作の苦悩などが10のエピソードで重層的に描かれる。脚本はアンドレイ・タルコフスキーとアンドレイ・コンチャロフスキーの二人。この映画は歴史の解釈をめぐる議論を呼び5年間公開されなかった。

※15歳未満の方は鑑賞できません。途中5分間の休憩あり。



監督:アンドレイ・タルコフスキー 出演:アナトリー・ソロニーツィン イワン・ラビニコ
1967年/35ミリ/モノクロ(一部カラー)/186分/ソ連/日本語字幕付き

4(水・祝) 11:00 / 13(金) 11:00 / 28(土) 14:00

鬼戦車T-34 *ЖАВОРОНОК*

第二次大戦中のドイツ領内。捕虜となったソ連の兵士イワン等は、ソ連製の戦車T-34に乗せられ、ドイツ軍の新型対戦車砲の実験台にされる。ところが彼らはスキをつけて戦車で逃走する。追うドイツ軍を尻目にT-34は国境に向かって走る。1942年ドイツ領内で実際に起こった事件に基づいて作られた映画。2019年日本でもヒットした戦争映画「T-34 レジェンド・オブ・ウォー」は、同じ事件を映画化したもの。



監督:ニキータ・クリヒン レオニード・メナケル
出演:ヴァチェスラフ・グレンコフ ゲンナージー・ユフチン
1964年/35ミリ/モノクロ/89分/ソビエト/日本語字幕付き

4(水・祝) 14:00 / 13(金) 14:00 / 20(金) 14:00

チャイコフスキー *Tchaikovsky*

1875年、チャイコフスキーはモスクワ高等音楽院で教鞭をとりながら作曲をしていた。オペラ歌手デジレ・アルトーとの結ばれぬ恋、1200通の手紙をやり取りしたメック夫人、破局した結婚など、チャイコフスキーの苦悩と孤独から生み出された名曲の数々のエピソードが描かれる。『真昼の決闘』等で知られるアメリカ映画音楽界の巨匠ドミトリー・ティオムキンの製作総指揮で、チャイコフスキーの生涯をソビエト映画界の総力を挙げて製作した大作。レニングラード・フィルハーモニーの音楽による華麗な作品。



監督:イーゴリ・タランキン 出演:インノケンティー・スモクトゥノフスキー アントニーナ・シユラーノワ
1970年/35ミリ/カラー/155分/ソ連/日本語字幕付き

5(木・祝) 11:00 / 12(木) 11:00 / 22(日) 11:00

タシケントはパンの町 *Tashkent-City of Bread*

ロシア革命後の国内戦が続く時代。未曾有の飢饉に直面したヴォルガ河一帯の人々は、中央アジアの穀倉地帯であるタシケントを目指した。少年ミーシカも家族のためにタシケントに向かい、ブドウ園で働く。原作の児童文学は作者の体験を小説化したもので、1923年に発表され好評を博した。それをアンドレイ・コンチャロフスキーが脚本化しており、60年代の中央アジアで製作された映画の代表的な1本。



監督:シュフトラ・アッパーソフ 出演:ウラジーミル・ヴォロベイ ウラジーミル・クデンコフ
1968年/35ミリ/モノクロ/97分/ソ連/日本語字幕付き

5(木・祝) 14:00 / 15(日) 11:00 / 26(木) 11:00

がんばれ かめさん *Attention, Turtle!*

モスクワのヴォーワという名の二人の小学生が、クラスの生物班として亀の世話をする。二人は亀の歩く速さや物を持ち上げる力を実験し、最後に甲羅の硬さを確かめる実験のため戦車を使おうとする。監督のロラン・ブイコフは俳優として有名だが、監督としても素晴らしい作品を残している。本作は爽やかな感動を呼ぶ子どものためのコメディ映画で、世界中で上映され監督の名前を高めた。



監督:ロラン・ブイコフ 出演:アリョーシャ・エルシヨフ アンドレイ・サモトルキン
1969年/35ミリ/カラー/86分/ソ連/日本語字幕付き

7(土) 14:00 / 15(日) 14:00 / 25(水) 14:00

モスクワは涙を信じない *Moscow does Not Believe in Tears*

1958年のモスクワ。カテリーナ(カーチャ)、リュドミーラ(リュウダ)、アントニーナ(トニーヤ)の3人は同じ女子労働者寮に住む親友。カーチャは資格取得を目指して勉強する努力家。リュウダは積極的で有名人と出会っての結婚を目指す。トニーヤは控えめな女性で職場の同僚のニコライと結婚間近だった。ある日大学教授の伯父に留守番を頼まれたリュウダは、カーチャを教授の娘にしたてて、男性たちを招いたパーティを開催する。リュウダはこれがきっかけで有名なホッケー選手と出会い、カーチャもTV局のカメラマンと出会う。

夢と希望を抱いて田舎からモスクワに出てきた3人の女性の約20年間を描いたメロドラマ。ソ連では大ヒットとなり、アメリカのアカデミー賞で外国語映画賞を受賞した。1985年アメリカのレーガン大統領は、ゴルバチョフ書記長と首脳会談を行う際に、「ロシア人の心」を知るために何回も繰り返し本作を鑑賞したという逸話がある。

監督:ウラジミール・メニョフ 出演:ヴェーラ・アレントワ アレクセイ・バターロフ
1980年/35ミリ/カラー/149分/ソ連/日本語字幕付き



7(土) 11:00 / 14(土) 14:00 / 27(金) 14:00

妖婆 死棺の呪い *Вий*

中世ロシアの古都キエフ。神学生ホマーは夏休みで帰路の途中、魔女に出会う。そしてホマーは魔女に呪いをかけられた少女を救うため、恐怖の3日間を過ごす。原作は文豪ゴーゴリの小説『ヴィー』。本作は監督高等課程の卒業制作で作られたもので、『石の花』(35)で知られる巨匠アレクサンドル・プトゥシコが監修している。特殊撮影を駆使した怪奇と幻想の物語で、日本でもカルト的なファンを持つ作品である。



監督:コンスタンチン・エルシヨフ ゲオルギー・クロバチエフ
出演:レオニード・クラヴレフ ナターリヤ・ワルレイ
1967年/35ミリ/カラー/78分/ソ連/日本語字幕付き

8(日) 11:00 / 22(日) 14:00 / 26(木) 14:00

光と影のバラード *СВОЙ СРЕДИ ЧУЖИХ. ЧУЖОЙ СРЕДИ СВОИХ*

1920年代。ロシアは飢饉に見舞われる。赤軍のシーロフ達は外国から穀物を輸入するための金塊をモスクワに運ぶ命令を受ける。ところが出発の日、シーロフが殺され、列車も白軍に襲われて金塊を奪われる。ソビエト映画の世界的巨匠ニキータ・ミハルコフの初監督作品。西部劇を思わせるアクション映画で、モノクロシーンを効果的に挿入し、洗練された映像は大きな話題となった。



監督:ニキータ・ミハルコフ 出演:ユリー・ボガティリョフ アナトーリー・ソロニーツィン
1974年/35ミリ/カラー/95分/ソ連/日本語字幕付き

8(日) 14:00 / 18(水) 14:00 / 21(土) 14:00

わが友イワン・ラブシン *My Friend, Ivan Lapshin*

1930年代の地方都市ウンチャンスク。刑事イワン・ラブシンは、たびたび出現する殺人鬼の逮捕に必死だった。そんな時彼は劇団の女優ナターシャと出会う。ラブシンは彼女に惹かれるがナターシャは、ラブシンの友人のハーニンに惹かれていた。スターリンによる粛清が始まる直前の30年代を舞台にしており、歴史の空白を埋める作品として賛否両論を巻き起こした問題作。その後ソ連映画の代表作として世界各国で上映された。



監督:アレクセイ・ゲルマン 出演:アンドレイ・ホルトネフ ニーナ・ルスラーノワ
1984年/35ミリ/モノクロ(一部カラー)/100分/ソ連/日本語字幕付き

11(水) 11:00 / 20(金) 11:00 / 28(土) 11:00

ジャズメン *Мы Из Джа За*

1920年代の港町オデッサ。ジャズの虜になったコースチャは演奏会を催すが、観客から罵声を浴びせられる。また窃盗団の宴会で演奏し警察に捕まって投獄されてしまう。ところが監獄でサクソフォン演奏者などに出会うのだった。4人の男たちが偏見や無理解の中でジャズバンドを結成するまでを描いたコメディ映画。20年代のスタンダードジャズやソビエトの代表的なジャズナンバーを聞くことができる。物語のモデルとなったのは国立ジャズオーケストラの創業者レオニード・ウチョーソフ。



監督:カレン・シャフナザーロフ 出演:イーゴリ・スクリャール A・バンクラトフ=チョールヌイ
1983年/35ミリ/カラー/88分/ソ連/日本語字幕付き

11(水) 14:00 / 21(土) 11:00 / 27(金) 11:00

インタビューー *Several Interviews on Personal Problems*

グルジアの首都トビリシ。ソフィコは新聞社の女性記者で、ジャーナリストとしての仕事に誇りを持っていた。一方家庭では良き母親であり妻であった。ところがある日彼女は夫が別の女性と会っている所を目撃する。主演は女優であり同時にソ連邦最高会議代議員であるソフィコ・チアウレリ。監督はグルジア出身の女性監督ラナ・ゴゴベリーゼ。家庭を持ち仕事をする女性の生きがいや苦悩が描かれる。



監督:ラナ・ゴゴベリーゼ 出演:ソフィコ・チアウレリ ギア・バドリーゼ
1979年/35ミリ/カラー/95分/ソ連/日本語字幕付き



ジャズメン



チャイコフスキー



2月	休館日	
3火祝	11:00 火の馬	14:00 アンドレイ・ルブリョフ
4水祝	11:00 鬼戦車T-34	14:00 チャイコフスキー
5木祝	11:00 タシケントはパンの町	14:00 がんばれ かめさん
6金	休館日	
7土	11:00 妖婆 死棺の呪い	14:00 モスクワは涙を信じない
8日	11:00 光と影のバラード	14:00 わが友イワン・ラブシン
9月	休館日	
10火	休映日	
ソ 11水	11:00 ジャズメン	14:00 インタビューアー
ピ 12木	11:00 タシケントはパンの町	14:00 アンドレイ・ルブリョフ
エ 13金	11:00 鬼戦車T-34	14:00 チャイコフスキー
ト 14土	11:00 火の馬	14:00 妖婆 死棺の呪い
15日	11:00 がんばれ かめさん	14:00 モスクワは涙を信じない
映 16月	休館日	
17火	休映日	
画 18水	14:00 わが友イワン・ラブシン	
特 19木	11:00 火の馬	14:00 アンドレイ・ルブリョフ
集 20金	11:00 ジャズメン	14:00 チャイコフスキー
21土	11:00 インタビューアー	14:00 わが友イワン・ラブシン
22日	11:00 タシケントはパンの町	14:00 光と影のバラード
23月	休館日	
24火	休映日	
25水	14:00 モスクワは涙を信じない	
26木	11:00 がんばれ かめさん	14:00 光と影のバラード
27金	11:00 インタビューアー	14:00 妖婆 死棺の呪い
28土	11:00 ジャズメン	14:00 鬼戦車T-34
29日	自主上映／福岡映画サークル協議会例会	
30月・31火	休館日	

アジア映画の自主上映への貸与

福岡市総合図書館は多くのアジア映画を保存するフィルムアーカイブとして活動しています。今回新たな事業として、収蔵作品の中から選ばれたアジア映画のブルーレイ・ディスクを作成し、自主上映を行う方に有償で貸与する事業を開始しました。令和4年2月1日現在貸与できるアジア映画は下記6作品です。

「虹の兵士たち」

2008年 インドネシア映画 リリ・リザ監督

「夢追いかけて」

2009年 インドネシア映画 リリ・リザ監督

「トゥルー・ヌーン」

2009年 タジキスタン映画 ノシール・サイドフ監督

「ジャングル・スクール」

2013年 インドネシア映画 リリ・リザ監督

「ヴィレッジ・オブ・ホープ」

2013年 タイ映画 プンソン・ナークブー監督

「土曜の午後に」

2019年 バングラデシュ映画 モストファ・サルワル・ファルキ監督



ヴィレッジ・オブ・ホープ

貸与の料金や条件等は総合図書館ホームページ内「映画上映貸出」をご覧ください。総合図書館文学・映像課映像活用係(電話:092-852-0608)までお問い合わせ下さい。

自主上映のお知らせ

5月29日(日) 福岡映画サークル協議会例会

上映作品：未定

主催：福岡映画サークル協議会 TEL092-781-2817

※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター(tel.0570-00-1010)に直接お問い合わせください。